

# 九大病院だより

九大病院だよりは患者さん向けの広報誌です。ご自由にお持ち帰り下さい。

## 特色のある大学病院へ

## —独立行政法人に移行—

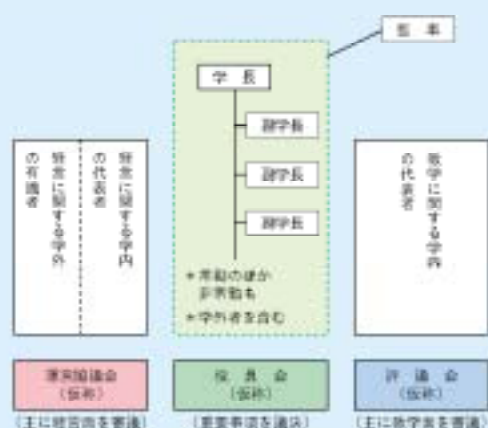
九州大学病院は4月から国立でなく医療法人でもない独立行政法人という新しい経営体制になります。これは政府が進める行政改革の一環として国立である九州大学が独立行政法人になるに伴って、病院も国立から独立行政法人、正確には「国立大学法人」に変わります。国立の九州大学病院が100余年の歴史に終わりを告げ新しい歴史が始まる訳で、地域住民にとって期待するものが大きいと思います。

これまで、国立大学は文部科学省が設置者となって運営されてきましたが、各省庁が持つ付属機関などが独立行政法人に移行することが始まっており、消防研究所（総務省）、家畜改良センター（農林水産省）、航空大学校（国土交通省）など約50機関が独立行政法人に移行し、国立病院（厚生労働省）など国の機関が次に移行する予定になっています。

国立大学の独立行政法人化は「大学の自主性、自律性が高まり、大学の個性化、活性化が推進される。特に非公務員型を採用することにより、勤務形態や処遇の弾力化が可能になり、産学官連携の一層の活発化が期待される」（政府HP）ということです。従って、病院もユニークな弾力性のある経営が要求されます。もちろん、大学病院本来の使命である教育、研究、診療の三位一体の目的は変わりませんが、より患者さん側に立った全人的医療、ヒューマンサービスとしての医療が提供されることが期待されます。

法人化後の大学の運営は役員会、運営協議会、評議会などに学外の有識者も参加して、民間的発想を導入した経営が盛り込まれます。例えば、教授、診療科長も兼任だった病院長職は経営協議会メンバーとなって病院の管理、運営に専念する病院長専任になり、予算や組織は大学で決めることができ、6年間の行動プランを策定するなど、独自色を打ち出せるようになります。法人化後、地域に開かれた大学病院として、患者さんの目線に沿った医療の発展にベストを尽くすことが大切ではないかと考えています。

法人化後の国立大学の基本的運営組織図



「新しい『国立大学法人』像について」より



## コラム

### お悩み方へ

ここ数年、12月を楽しみに持っています。と言いますのは、塩野七生さんが書いている年1巻の「ローマ人物誌」のシリーズが、出版されるためです。私は青年の頃、歴史学者になりたいと思ったほど歴史が好きで、その手の本はかなり読んでいたつもりです。興味が日本の歴史から中国の歴史に移ったとき、その古さに驚きました。しかし、ローマの歴史を読んだとき、その古さだけでなく、その民主的なことに驚きました。共和制の時は勿論、皇帝による政治に移行しても、法律は元老院で審議され、決定されています。このローマ時代から西洋医学は発展し、哲人皇帝と呼ばれたマルクス・アウレリウス（121-180年）の侍医であったガレヌス（129-199年）は、解剖学・生理学の祖とされるほど研究業績を上げ、私どものためになるような医師の

はやし じゅん  
総合診療部教授 林 純

MESSAGE from Hayashi Jun

心得を書き遺しています。また、この頃から医療の分化が進み、哲学者で政治家であったケケロ（前106前43年）が「具合の悪い箇所ごとに違う医者と呼ばなくてはならない、自分の命はどの医者に預ければよいのか」と嘆いています。やはり、いつの時代も総合診療医が必要であったようです。近年、医学の発展は目覚しく、さらに専門化が進み、ますます一般の方には解りにくくなっています。自分はこの診療科にかかったらよいのだろうか？あるいはこの程度の病状でも専門家にかかる必要があるのだろうか？などと、お悩みの方は、総合診療部が行っています医療相談コーナーをご利用ください。無料です。



病態制御内科（第三内科）は創設より約80数年の歴史を有します。内科として、（1）内分泌代謝・糖尿病疾患（2）肝・脾・消化管疾患（3）血液疾患の3分野を中心に広範囲かつ専門的な診療をしており、全身を診る総合的内科診療が可能です。内分泌代謝領域では、わが国有数の専門施設として下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性腺などにおける様々なホルモンの病気の診療にあたると同時に、肥満、高脂血症、骨粗鬆症等の生活習慣病の診療にも力を注いでいます。今や国民病ともいわれる糖尿病診療では通常入院のほか、2週間の短期教育入院も行っています。肥満、糖尿病教室による啓蒙教育活動の他、糖尿病患者の会「三糖会友の会」では、食事会・遠足などのリクリエーションを通じて会員相互の交流や情報交換も行っています。消化器領域では肝臓グループが、慢性肝炎や肝臓癌など、膵臓グループが慢性膵炎、膵癌など、消化器グループが胃や腸管の様々な炎症性疾患や癌などの疾患の診療を中心に、最新の診断技術や治療法を駆使した先端的医療を提供しています。また西日本の肝臓移植の拠点病院として、肝臓移植医療の適応決定やご相談に応じています。血液グループでは血液の様々な癌に対して、骨髄移植や細胞療法といった新しい治療法を駆使して、日夜、奮闘しています。スタッフ一同、笑顔と親切をモットーに今後も今まで以上に患者さんの病態やニーズに応じた診療を心掛けていきたいと思っております。

（第三内科 教授 名和田 新）

## 花粉症

### 花粉症とは

花粉によって引き起こされるアレルギー性の病気で、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、眼のかゆみ、流涙などを主な症状とします。風邪と違って熱や咳がないことが特徴です。

### 原因

もっともポピュラーなものはスギ花粉に対するもので、花粉に含まれるアレルゲンが粘膜の免疫を担当する白血球の一種に働きかけるとヒスタミンなどの炎症物質が放出され、様々な症状が引き起こされます。有病率は国民の16%に達するとされています。戦後に大量に植林されたスギから大量に飛散した花粉が、舗装されて都市化が進んだために舞い上がりやすくなったこと、環境の汚染で人の粘膜が過敏になったことなどが原因といわれています。スギ花粉は2月から3月に多いのですが、4月頃にはヒノキ、5月頃にはカモガヤ、また9月頃にはヨモギ、ブタクサ、カナムグラなど、いろいろな花粉が原因となることがあります。



●スギの木



●スギ花粉

### 予防と治療

スギの花粉は雨が降った後天候が回復して風が強い日に多く飛散します。このような日にはなるべく外出を控え、外出する場合はマスクを着用しましょう。洗濯物に付着した花粉にも注意が必要です。治療はアレルギーを抑える作用を持つ薬剤を用います。症状が出る前から内服を始めると症状が重くならずすみます。最近では眠気などの副作用が少なく、効果が長い薬剤がいろいろ開発されていますので、早めに耳鼻咽喉科専門医に相談してください。

（耳鼻咽喉科 助教授 山本 智矢）

## お知らせ

### ◇ロビーコンサート

3月26日（金）午後4時30分から1時間、九州大学病院外来1階ロビーで。

「音楽と医療」と題して、ピアニスト・作曲家の西村由紀江さんが演奏。

西村さんは3歳からピアノを始め、これまで25枚のアルバムがあり、学校コンサートを中心に活躍されています。

### ◇ボランティア募集

九州大学病院は外来案内や愛の図書館、入院患者の介護補助などのボランティア活動をする人を募集しています。現在では45人が登録して活躍されていますが、さらに患者さんのお役に立ちたいという善意の人を募っています。

外来案内（平日8時30分から11時）、愛の図書館（毎週火曜日11時から14時）、その他のボランティア活動（毎日9時から17時）

お問い合わせは、九州大学病院患者サービス課まで。

電話：092-642-5981

# 成人間生体肝移植が

## 平成16年1月1日付で保険適応となりました。

これまでは16歳以上の成人の肝硬変（B型、C型肝炎を含む。）や劇症肝炎に関しては保険適応がなく、全額自費診療のため高額な医療費（平均1,000万円～1,200万円）が必要でした。今後は次の疾患全てが、成人・小児を問わず保険診療として認められることになり、患者さんの負担が大幅に軽減されることになりました。

先天性胆道閉鎖症、進行性肝内胆汁うっ滞症（原発性胆汁性肝硬変と原発性硬化性胆管炎を含む。）、アラジール症候群、パッドキアリー症候群、先天性代謝性肝疾患（家族性アミロイドポリニューロパチーを含む。）、多発嚢胞肝、カロリ病、肝硬変（非代償期）及び劇症肝炎（ウィルス性、自己免疫性、薬剤性、成因不明を含む。）などです。

なお、肝硬変に肝細胞癌を合併している場合には、遠隔転移と血管侵襲を認めないもので、肝内に径5cm以下1個又は径3cm以下3個以内が存在する場合に限ります。

詳しくは、以下の第二外科移植グループの担当者にお気軽に御相談ください。

（第二外科 移植グループ 教授 前原 喜彦・助手 副島 雄二） 連絡先：092-642-5466又は092-642-5479（外来）



## 病院地区 建物紹介

## 雨水等の有効利用施設

### 南棟の雑用水道設備の実現

九州大学病院の南棟では、福岡市の水を大切にする節水型都市づくり推進の趣旨・目的を実現するため、トイレの洗浄水には病院独自に雨水等を有効利用する雑用水道システムを導入しております。

雑用水の水源としては、南棟屋上に降った雨水、病院構内の井戸水及び病棟から発生する雑排水などを砂ろ過、限外ろ過膜及び活性炭吸着装置等の技術を使用して水循環による資源の有効利用、環境に配慮した総合的な水の管理に努めております。

雑用水の貯留施設としては南棟の地下部分に25mプール程度の受水槽を設置し、トイレ洗浄水として利用されております。また、お尻等を洗う水は上水道を利用し、環境や衛生面にも配慮した設備を実現しております。

（事務部经理談）



● 雨水用砂ろ過装置



● 雑用水用限外ろ過装置

※奨学寄付金とは、教育・学術研究の奨励及び病院運営の助成等のため、個人・法人等から寄付金として受け入れるものです。詳しくは、左記掛へお問い合わせ願います。

## ●●●● 大韓民国・サムソンソウル病院と学術交流協定を締結 ●●●●

九州大学病院では3月8日、大韓民国サムソン生命公益財団サムソンソウル病院と学術交流協定を締結しました。国立大の附属病院が海外の民間病院と交流協定を結ぶことは極めて異例です。この協定は両機関が協力病院として患者の相互紹介・診療の相互協力、医療技術や臨床研究の交流活動を通じて、両国の診療水準の向上と教育並びに研究の発展に貢献することを目的としています。調印式は病院長室で行われ、サムソンソウル病院の李病院長と本院の名和田病院長が協定書に署名・交換し固く握手を交わしました。

調印式終了後、本院臨床大講堂において李病院長により『韓国の病院の医療環境とサムソンソウル病院の現状』と題し記念講演会を開催しました。講演に引き続き、尾首看護部長と新開医療技術部長から、昨年11月に同病院を訪問した際の視察報告が行われました。



●協定締結後、握手を交わす李病院長と名和田病院長

### 医療トピックス (新聞等に掲載されたニュース等をお知らせします。)

◇研修医のバイト診療追放 厚生労働省は研修医のアルバイト診療をなくすため、アルバイトを禁止しない病院には国の補助金を交付しない方針を決めた。経験が浅く、医療事故を招く恐れがあると指摘されていたため、雇用契約などで明確にバイト禁止を交付の条件とし、研修医の受入れ病院に対応を求める。同省の02年の実態調査によると、臨床研修指定病院の76%がアルバイトを認めていないのに対し、研修医の収入水準が低い大学病院では、81%がアルバイトを認めていた。(西日本新聞)

## 外来診療日一覧

ご用件がありましたら、下記の診療科等に直接お電話願います。  
(市外局番は「092」です)

階	科名(電話番号)	初診日	再診日	階	科名(電話番号)	初診日	再診日	診療施設等	電話番号
1	総合診療部 (642-5300)	月～金	月～金	1	第二外科 (642-5479)	月・水・金	月・水・金	救急部受付	642-5873
	内科(初診) (642-5300)			1	整形外科 (642-5504)	月・水・金	金	時間外受付	642-5163
	内科(再来) (642-5302)	月～金	月～金	2	脳神経外科 (642-5533)	月・水・ <b>金</b>	月・水・ <b>金</b>	総合外来受付	642-5138
1	先端分子細胞治療科 (642-5996)	月～金	月～金	2	心臓外科 (642-5565)	月・ <b>木</b>	月・水・ <b>木</b>	入院受付	642-5149
2	心療内科 (642-5335)	月・木	<b>火</b> ・ <b>水</b> ・ <b>金</b>	2	小児外科 (642-5578)	月・水・金	月・水・金	公費申請受付	642-5185
2	神経内科 (642-5349)	<b>火</b> ・ <b>木</b> ・ <b>金</b>	月・ <b>水</b>	2	皮膚科 (642-5596)	月・水・金	<b>火</b> ・ <b>木</b>	地域医療連携室	642-5165
2	循環器内科 (642-5371)	月～木	月・水	2	泌尿器科 (642-5615)	月～金	月・水・金	支払い窓口	642-5169
2	呼吸器科 (642-5388)	月・水・金	月・火・水・金	1	精神科神経科 (642-5640)	<b>火</b> ・ <b>木</b>	月・ <b>水</b> ・ <b>金</b>	リハビリ受付	642-5862
2	産科婦人科 (642-5409)	火・木	月～金	1	眼科 (642-5660)	月・水・金	月～ <b>金</b>	医療相談	642-5914
2	周産母子センター (642-5900)			2	耳鼻咽喉科 (642-5681)	月～ <b>木</b>	月・ <b>水</b> ・ <b>金</b>		
2	小児科 (642-5430)	月～金	月～金	1	放射線科 (642-5705)	月・水・金	月～金		
1	先端医工学診療科 (642-5993)	月～金	月～金	2	麻酔科蘇生科 (642-5719)	月・水・金	月・水・金		
1	第一外科 (642-5453)	火・木・金	火・木・金						

※○印の曜日は予約が必要です。

- 休診日  
土曜日、日曜日、祝日、  
年末年始(12/29～1/3)
- 受付時間  
8:30～11:00
- 外来玄関開閉時間  
7:00～18:00

- 注
- 予約がある場合はこの限りではありません。
  - 再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となる場合がありますので、あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

(代表) 092-641-1151



病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の提示がない場合には、保険の取扱いができないことがありますので、予め御了承願います。

ご意見・ご感想を電子メール(ibskoho@jimu.kyushu-u.ac.jp)  
または外来棟玄関の「ご意見箱」にどしどしお寄せください。お待ちしております!